

【リビジョンアップ】  
 ディスプレイ開発対応支援ツール  
 QE for Display[RX]V2.1.0

R20TS0676JJ0100  
 Rev.1.00  
 2021.04.01 号

概要

タイトルに記載している製品を以下のとおり、リビジョンアップしました。

(1) ディスプレイ開発対応支援ツール QE for Display[RX] : V2.0.0 から V2.1.0

1. アップデート対象バージョン

- ディスプレイ開発対応支援ツール QE for Display[RX] V2.0.0 以前の全リビジョン

2. バージョンアップ内容

主なバージョンアップ内容を以下に記します。詳細は、以下のリリースノートをご参照ください。

- ディスプレイ開発対応支援ツール QE for Display[RX]

QE for Display[RX] V2.1.0 リリースノート

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=r20ut4967>

QE for Display[RX]のサポートデバイスの一覧は、以下の URL をご参照ください。

<https://www.renesas.com/qe-display>

2.1 機能改善

- 株式会社 CRI・ミドルウェア製「Aerpoint GUI for RX」との連携強化

(1) ワークフロービューで一連の操作を迷わずに設定可能

QE for Display[RX]で GUI 描画ツールから CRI・ミドルウェア社製 Aerpoint® GUI を選択し、直接 GUI 描画ツールの起動ができようになりました。

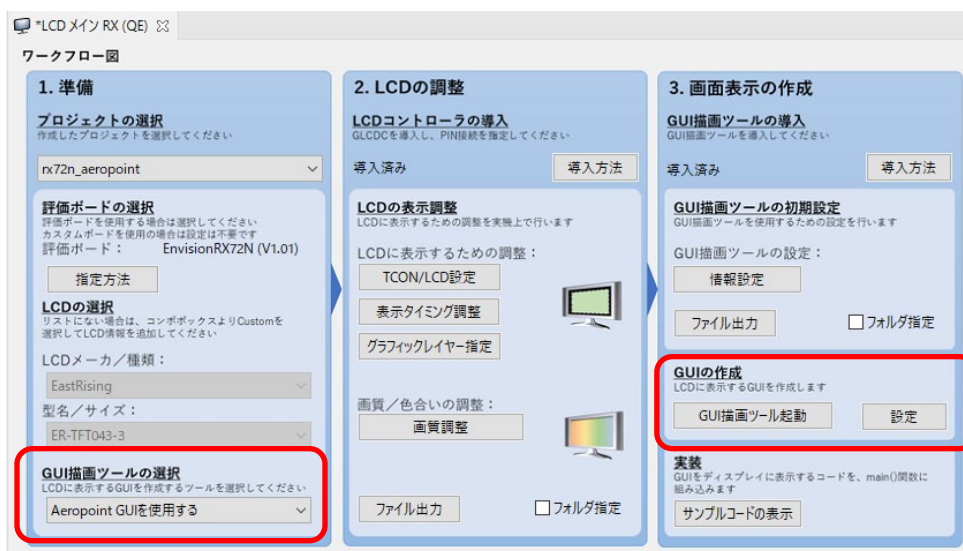


図 1 QE for Display[RX] ワークフロー図

### (2) RX ファミリ向けの無償で使用可能な GUI ライブラリ

GUI ライブラリは FIT モジュールとして提供されていますので、簡単にユーザプログラムへ組み込みめます。Firmware Integration Technology (FIT)については、以下 URL を参照ください。

<https://www.renesas.com/fit>

- ・ Aeropoint FIT r\_aeropoint\_rx v1.00
- ・ RX ファミリ グラフィック LCD コントローラモジュール FIT r\_gldcd\_rx v1.5.0

### (3) システムの構成や統合が簡単

QE for Display で調整した結果(タイミングや画質)をユーザプロジェクトに追加した FIT モジュールに反映できますので、ユーザプロジェクトへのマージの手間を軽減できます。

CRI 社製「Aeropoint GUI for RX」は、パワーポイントで GUI 作成、優れた減色技術、音声や動画再生も可能な GUI ツールです。お問合せは株式会社 CRI までお寄せください。

<https://www.cri-mw.co.jp/product/embedded/Aeropoint/GUI.html>

評価希望者にはキット (RX72N Envision Kit を含む Aeropoint GUI リファレンスキット) のプレゼントを行うオンラインセミナーを開催予定です。詳細は以下 URL を参照ください。

<https://www.renesas.com/jp/ja/support/training/seminar/individual/mcu-seminar/m60>

PowerPoint で作成できる組込み GUI ミドルウェア「Aeropoint GUI for RX」 New Feature (オンライン)

### 3. アップデート方法

以下のいずれかの方法でアップデートしてください。

#### 3.1 e<sup>2</sup> studio のインストーラからアップデートする場合

e<sup>2</sup> studio のアップデート方法については、RENESAS TOOL NEWS 資料番号 R20TS0643JJ0100 の "3. アップデート方法" をご参照ください。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=r20ts0643>

【バージョンアップ】統合開発環境 e<sup>2</sup> studio 2021-01

e<sup>2</sup> studio インストールの[追加ソフトウェア]で、QE for Display を選択してください。

注 1 : インターネット接続のない環境の場合、このステップは無効のため、3.2 の方法でアップデートしてください。

注 2 : e<sup>2</sup> studio 2020-07 以降をご使用ください。

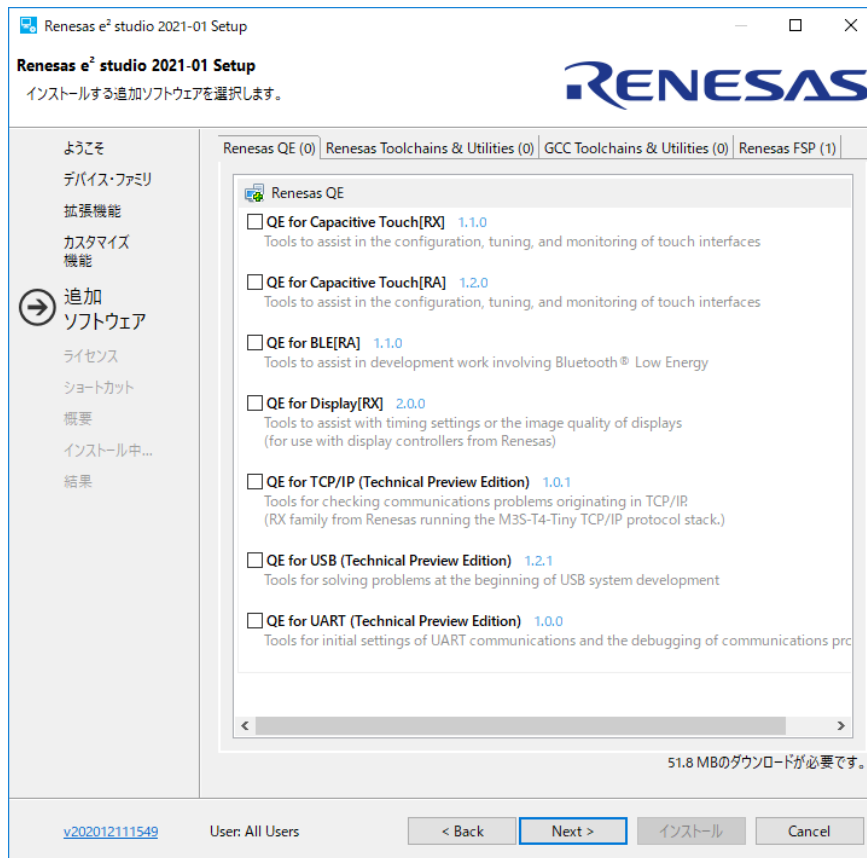


図 2 e<sup>2</sup> studio のインストーラからアップデート

### 3.2 QE のインストーラを使用する場合

以下の URL から、インストーラをダウンロードし、インストールを行ってください。

- ディスプレイ開発対応支援ツール QE for Display

<https://www.renesas.com/qe-display>

QE for Display パッケージ V2.1.0

インストール方法については、以下を参照してください。

- (1) e<sup>2</sup> studio を起動する。
- (2) [ヘルプ]→[新規ソフトウェアのインストール...]メニューを選択し、[インストール]ダイアログを開く。
- (3) [追加(A)...]ボタンを押下し、[リポジトリを追加]ダイアログを開く。
- (4) [アーカイブ(A)...]ボタンを押下し、開いたファイル選択ダイアログで、インストール用ファイル(zip ファイル)を選択し、[開く(O)]ボタンを押下する。
- (5) [リポジトリを追加]ダイアログで、[OK]ボタンを押下する。
- (6) [インストール]ダイアログに表示された[Renesas QE]項目を展開し、表示された[Renesas QE for Display[RX]]チェックボックスをチェックし、[次へ(N)>]ボタンを押下する。  
※：この時、[必要なソフトウェアを見つけるために、インストール中に更新サイト全てに接続]チェックを外すことでインストール時間を短縮できます。
- (7) インストール対象が正しいことを確認し、[次へ(N)>]ボタンを押下する。
- (8) ライセンスを確認した後、[使用条件の条項に同意します(A)]ラジオ・ボタンを選択し、[終了(F)]ボタンを押下する。
- (9) 信頼する証明書の選択ダイアログが表示された場合、表示された証明書をチェックした後、[OK]ボタンを押下してインストールを継続する。
- (10) 画面の指示に従い、e<sup>2</sup> studio の再起動を行う。
- (11) e<sup>2</sup> studio の[Renesas Views]－[Renesas QE]メニューより本製品を起動する。  
本製品の使い方は e<sup>2</sup> studio の[ヘルプ]メニューから、QE の項目を参照してください。

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Apr.01.21	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したものです。誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

[www.renesas.com](http://www.renesas.com)

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

[www.renesas.com/contact/](http://www.renesas.com/contact/)

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。